



リスク分析シミュレーション



NN エヌエヌ生命

# インストールガイド

(Ver3.2)

#### ご注意

- 1) このソフトウェアおよび本書の一部または全部を無断で使用、複製することは禁止されています。
- 2) 本書に記載されている内容は、将来予告なしに変更することがあります。
- 3) このソフトウェアおよび本書を運用した結果の影響については、その一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

# 目 次

<b>第 1 章</b>	<b>インストールを行う前に</b>	<b>3</b>
1. 1	はじめに	3
1. 2	稼働環境の確認	3
■	動作可能なオペレーティングシステム	3
■	パソコンスペック等	4
■	インストールができないケース	4
■	旧バージョンのインストール有無	4
■	ご準備いただくもの	4
■	インストールされるソフトウェアについて	5
■	インストールを行う上での注意事項	5
<b>第 2 章</b>	<b>インストール手順</b>	<b>6</b>
2. 1	インストールの流れ	6
2. 2	インストール作業を行う前の事前チェック	6
2. 3	インストール	7
■	STEP 1 リスク分析シミュレーション本体のインストール	7
①	インストーラの起動	7
②	使用許諾、および利用者情報の入力	8
③	リスク分析シミュレーション本体 のインストール	10
■	STEP 2 Microsoft SQL Server 2012 のセットアップ	11
■	STEP 3 .NET Framework 4.0 のセットアップ	15
■	STEP 4 .NET Framework 4.0（日本語版）のセットアップ	17
<b>第 3 章</b>	<b>バージョンアップ手順</b>	<b>18</b>
3. 1	バージョンアップを行う前の注意点	18
①	リスク分析シミュレーションがインストール済みであること	18
②	管理者権限を持つユーザでログイン	18
③	古いバージョンのデータのバックアップは復元不可	18
3. 2	バージョンアッププログラムの入手方法	18
3. 3	バージョンアップ手順	19
<b>第 4 章</b>	<b>トラブルシューティング</b>	<b>21</b>
4. 1	トラブルシューティングについて	21

## 第1章 インストールを行う前に

### 1.1 はじめに

本書は「リスク分析シミュレーション」をパソコンで使用可能にするためのインストールガイドです。インストールを行う際は、本ガイドに従って実施してください。

### 1.2 稼働環境の確認

「リスク分析シミュレーション」をインストールする前には、必ず下記に記載された要件を満たしているか確認してください。稼働要件に合致しないパソコンではインストールができないか、もしくはインストール後でも正常に動作しない可能性があります。

#### ■ 動作可能なオペレーティングシステム



動作可能なオペレーティングシステム	
Microsoft Windows 7 Professional Service Pack 1 (32 ビット版)	
Microsoft Windows 7 Professional Service Pack 1 (64 ビット版)	
Microsoft Windows 7 Home Premium Service Pack 1 (32 ビット版)	
Microsoft Windows 7 Home Premium Service Pack 1 (64 ビット版)	
Microsoft Windows 8 Pro (32 ビット版)	※1
Microsoft Windows 8 Pro (64 ビット版)	※1
Microsoft Windows 8 (32 ビット版)	※1
Microsoft Windows 8 (64 ビット版)	※1
Microsoft Windows 8.1 Pro (32 ビット版)	※1
Microsoft Windows 8.1 Pro (64 ビット版)	※1
Microsoft Windows 8.1 (32 ビット版)	※1
Microsoft Windows 8.1 (64 ビット版)	※1
Microsoft Windows 10 Pro (32 ビット版)	※1
Microsoft Windows 10 Pro (64 ビット版)	※1
Microsoft Windows 10 Enterprise (32 ビット版)	※1
Microsoft Windows 10 Enterprise (64 ビット版)	※1

※1 Windows 8/8.1/10 では、Microsoft .NET Framework 3.5 SP1 がインストールされていない場合、インターネットに接続して Windows Update 経由でインストールします。インターネットが接続できない場合は Windows のインストールメディアが必要です。これらは各 PC の「コンピュータ」-「プロパティ」で確認することができます。

## ■ パソコンスペック等



項目	スペック
CPU	Intel Pentium4 3GHz 以上（デュアルコア以上を推奨）
メモリー	2GB 以上
HDD 空き容量	<u>C ドライブの空き容量が最低 2GB 以上</u> （10GB 以上推奨）
ディスプレイ	1024×768 以上
ソフトウェア	【ACELINK 連携を行う場合】 ACELINK NAVI もしくは ACELINK NX-Pro がインストール済み ※1 （2013 年 4 月 22 日アップデート版を適用済みであること）
	Adobe Acrobat Reader 11 以降のバージョン

※1 ACELINK からデータの取得を行う場合、ACELINK がサーバにインストールされている環境では、使用する各端末のPCに ACELINK クライアントアプリケーションがインストールされていることが前提となります。なお、ACELINK 製品のオフライン版では ACELINK からのデータ連携は行えません。

## ■ インストールができないケース

OS やパソコンスペックの条件が前述の内容を満たしていない場合、本ソフトのインストールが正しくできない可能性がありますのでご注意ください。

## ■ 旧バージョンのインストール有無



本ソフトウェアはバージョン 3.1 となります。以前のバージョンのソフトウェアが既にインストール済みの場合は、本ソフトウェアのバージョンアップ処理をご利用ください。  
詳しくは、本書の「第 3 章 バージョンアップ手順」を参照してください。

## ■ ご準備いただくもの

本ソフトウェアのインストール中には下記の項目について入力を行う必要があります。  
事前にご準備ください。  
なお、入力内容は、本ソフトウェア利用開始後に変更することも可能です。


入力項目
単位会名（ <b>入力必須</b> ）
事務所名（ <b>入力必須</b> ）
事務所住所（ <b>入力必須</b> ）
電話番号（ <b>入力必須</b> ） ※半角で入力します。
NN 代理店番号（任意）
代理店名（任意）

## ■ インストールされるソフトウェアについて

本ソフトウェアのインストールによって、下記のソフトウェアがセットアップされます。既にセットアップ済みのものはスキップされますが、事前に内容をご確認ください。もし、ACELINK 製品以外のソフトウェアをパソコンでご使用されている場合は、下記のソフトウェアがインストールされることによって影響がないか、必要に応じて他のソフトウェアメーカーにお問い合わせいただくこともお奨めいたします。

セットアップされるソフトウェア
リスク分析シミュレーション （本ソフトウェアの本体）
Microsoft Windows Installer 4.5
Microsoft .NET Framework 3.5 SP1
Microsoft SQL Server 2012 Express インスタンス名:SQLANALYSIS

## ■ インストールを行う上での注意事項

本ソフトウェアのインストールでは、作業中に注意すべき点があります。インストールを行う際は、本書をよくお読みいただいた上で行ってください。特に注意が必要な個所については文頭に  マークがついています。

## 第2章 インストール手順

### 2.1 インストールの流れ

ご利用の PC に新たにソフトをインストールする場合は手順で実施します。



※Windows10 以外(7や 8.1)の OS をご利用の際は、STEP3、4を行っていただく可能性があります。詳細は本章の「2.3 インストール」を参照してください。

### 2.2 インストール作業を行う前の事前チェック

インストールを行う前に次の点について必ずチェックを行ってください。



チェック項目	確認事項
オペレーティングシステム、パソコンスペック等	インストール対象のパソコンが、第 1 章でまとめた稼働要件を満たしていますか？
ログインユーザ	管理者権限でログインしていますか？ 管理者権限を持たないユーザではインストールが正しく行われません。
パソコンの状態	他のソフトウェアが実行中ではありませんか？ パソコン上で他のソフトウェアが稼働している場合は、処理を終了してからインストールを行ってください。 (ウイルスチェック等は稼働中でも構いません)

インストールを行う前に、パソコンを一度、再起動することをお奨めいたします。

## 2. 3 インストール

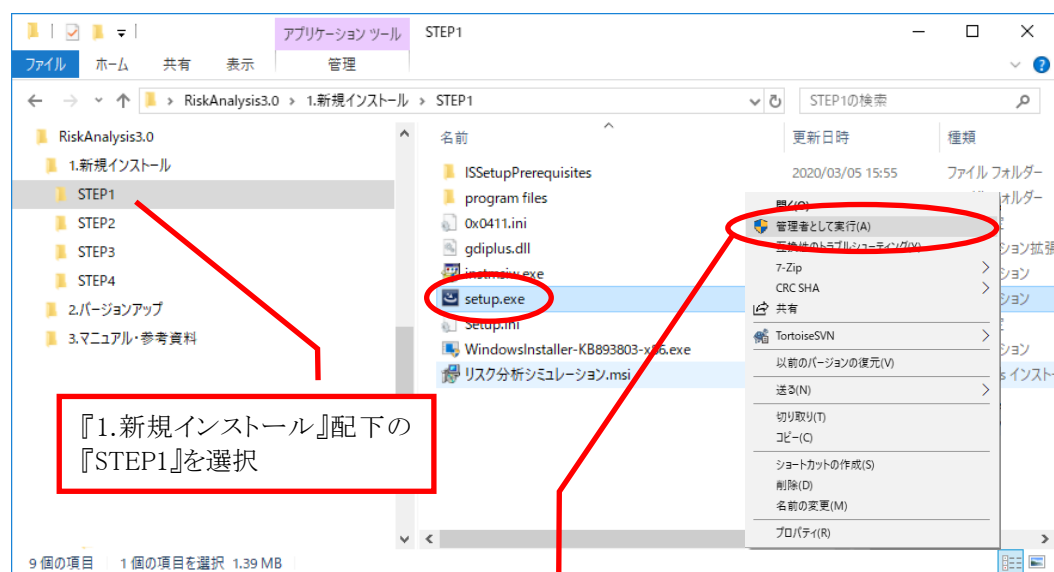
### ■ STEP1 リスク分析シミュレーション本体のインストール

#### ① インストーラの起動

ドライブに CD-ROM を挿入し、エクスプローラーにて CD-ROM 内の「1.新規インストール」フォルダの配下の「STEP1」のフォルダを開き、以下の要領でインストーラを起動します。



一覧の中から「setup.exe」(拡張子の exe がない場合は、種類が「アプリケーション」になっている「setup」)を選択し、マウスの右クリックから「管理者として実行」を選択します。なお、選択後、パソコンによっては「ユーザアカウント制御」の確認画面が表示される場合があります。「ユーザアカウント制御」の画面ではそのまま「OK」を選択します。

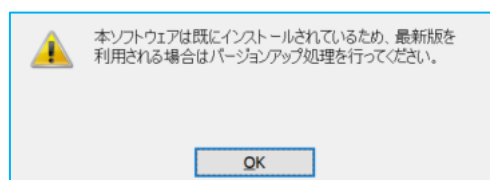


『1.新規インストール』配下の『STEP1』を選択

ポップアップメニューから「管理者として実行 (A)」を選択



なお、本作業中に下記のメッセージが表示された場合は、既に旧バージョンの本ソフトウェアがインストール済みであることを示しています。この時はメッセージのガイドに従い、バージョンアップ処理を行ってください。(手順は第 3 章を参照)



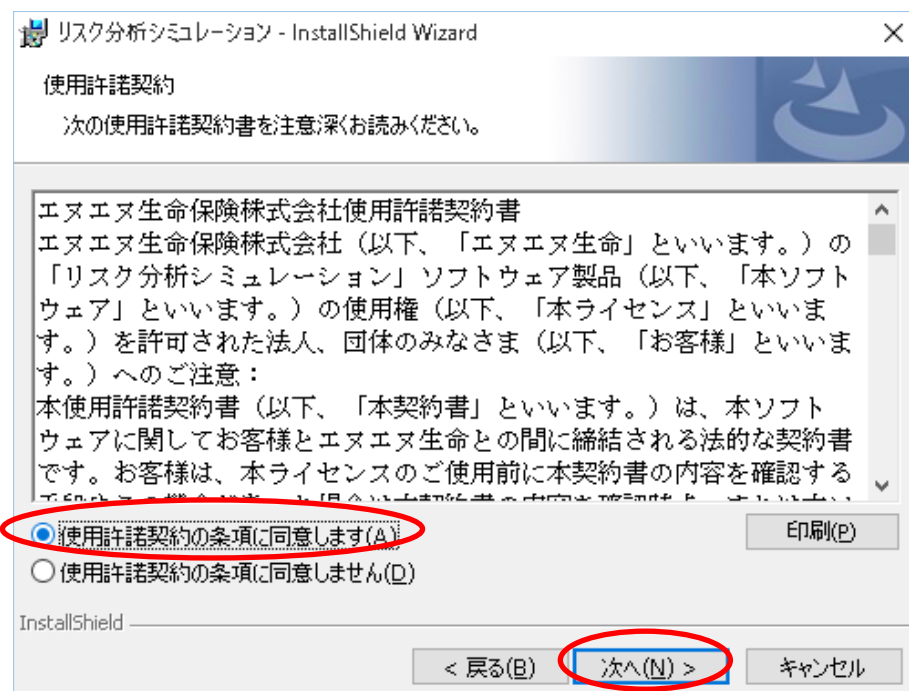


## ② 使用許諾、および利用者情報の入力

表示される画面の指示に従い、情報を入力します。



「次へ(N) >」をクリックします。



使用許諾契約書の内容をお読みいただき、内容に同意いただける場合は「同意します」を選択し、「次へ(N) >」をクリックします。



リスク分析シミュレーション - InstallShield Wizard

利用者情報の入力 (※:必須入力、プログラム起動後に変更出来ます。)

単位会名 (※) 東京会

事務所名 (※) NN会計事務所

事務所住所1 (※) 東京都千代田区紀尾井町

事務所住所2

電話番号 (※) 03-0000-0000

NN代理店番号 ABCDE

代理店名 NN会計事務所

InstallShield

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

電話番号は必ず半角で入力してください。

利用者情報を入力します。(※)印がある項目は必ず入力してください。  
画面は入力例です。入力が完了したら「次へ(N) >」をクリックします。

リスク分析シミュレーション - InstallShield Wizard

プログラムをインストールする準備ができました  
ウィザードは、インストールを開始する準備ができました。

「インストール」をクリックして、インストールを開始してください。  
インストールの設定を参照したり変更する場合は、「戻る」をクリックしてください。「キャンセル」をクリックすると、ウィザードを終了します。

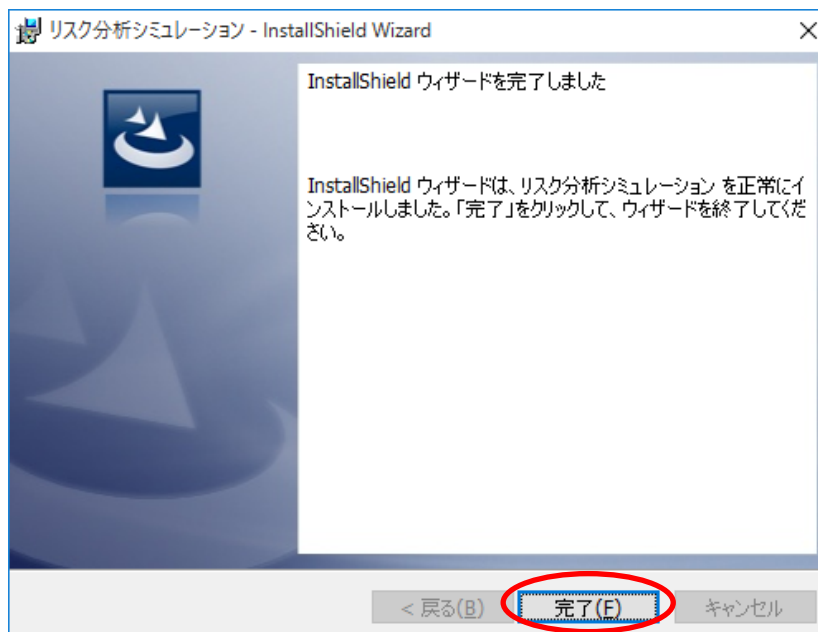
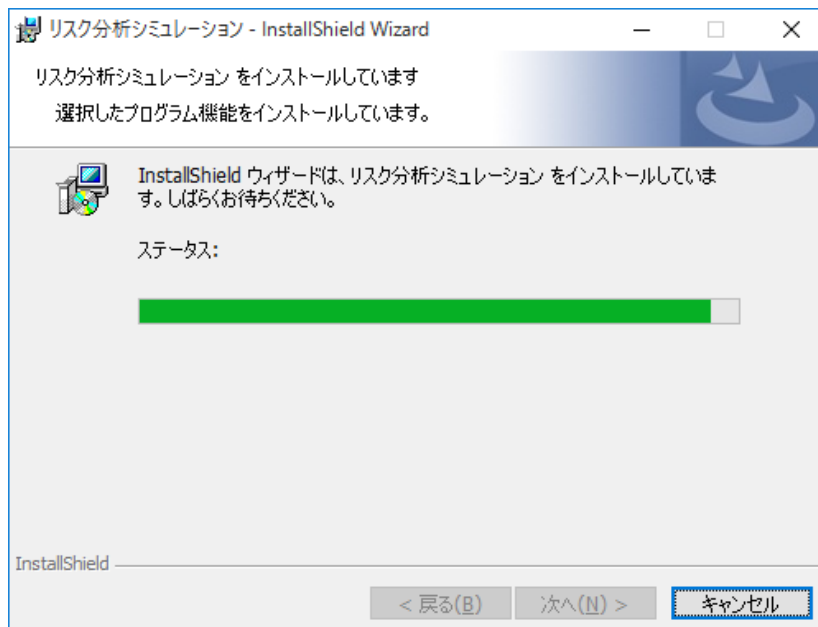
InstallShield

< 戻る(B) インストール(I) キャンセル

「インストール(I)」をクリックするとインストール作業が始まります。

### ③ リスク分析シミュレーション本体 のインストール

インストール中は下記の画面が表示されます。



インストールが完了すると、上記の画面が表示されますので、「完了(F)」をクリックします。



ここまで完了しても、まだ「リスク分析シミュレーション」を利用することはできません。  
次に STEP2 の処理を実行して、初めて「リスク分析シミュレーション」を利用できるようになります。



以下、STEP2 の作業を進める前に、パソコンの再起動を行ってください。  
ご利用の PC によっては再起動を行わないことで次の STEP2 でエラーが発生することがあります。

## ■ STEP2 Microsoft SQL Server 2012 のセットアップ

リスク分析シミュレーションでは、マイクロソフト社が提供する「SQL Server 2012」というデータベースソフトウェアを利用して動作します。

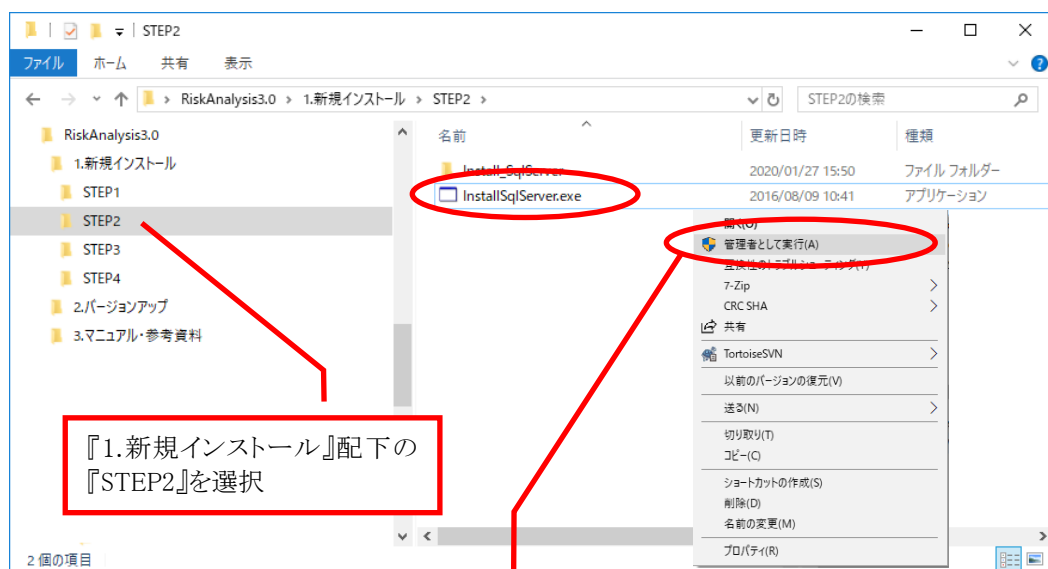
そのため、次のステップとして「SQL Server 2012」のセットアップを行います。

実行方法は、エクスプローラーにて CD-ROM 内の「1.新規インストール」フォルダの配下の「STEP2」のフォルダを開き、以下の要領でインストーラを起動します。



一覧の中から「InstallSqlServer.exe」(拡張子の exe が無い場合は、種類が「アプリケーション」になっている「InstallSqlServer」)を選択し、マウスの右クリックから「管理者として実行」を選択します。

なお、選択後、パソコンによっては「ユーザアカウント制御」の確認画面が表示される場合があります。「ユーザアカウント制御」の画面ではそのまま「OK」を選択します。

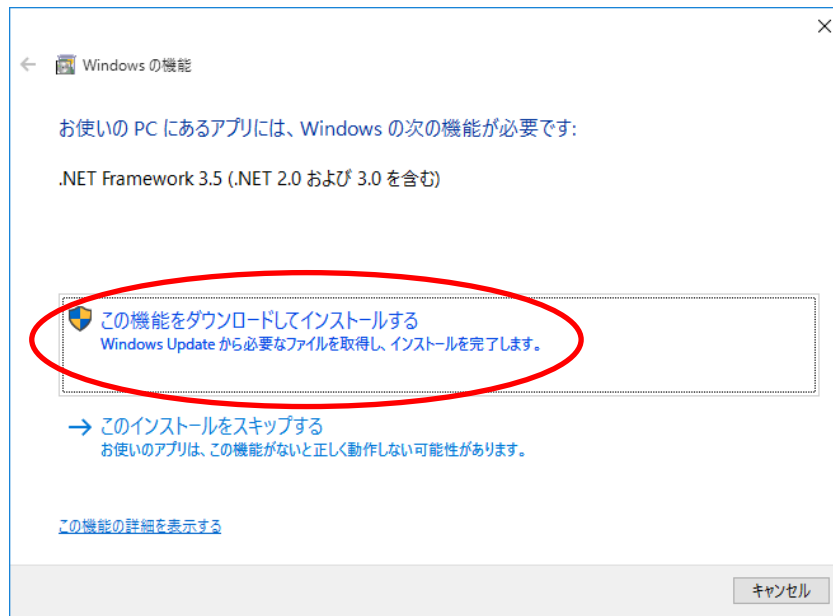


『1.新規インストール』配下の  
『STEP2』を選択

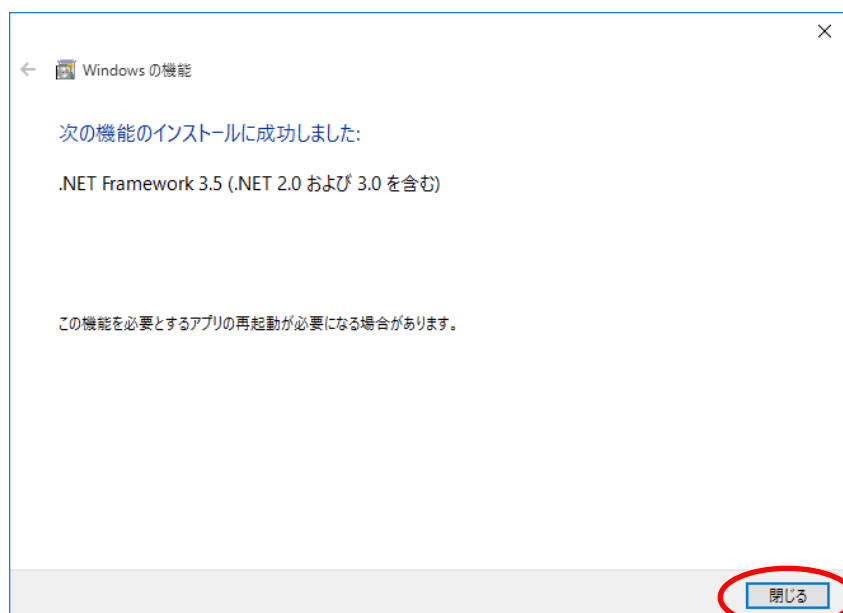
ポップアップメニューから  
「管理者として実行(A)」を選択



以下のメッセージが表示された場合、「.NET Framework 3.5」のインストールが必要です。インターネットに接続していることを確認し、「この機能をダウンロードしてインストールする」をクリックします。



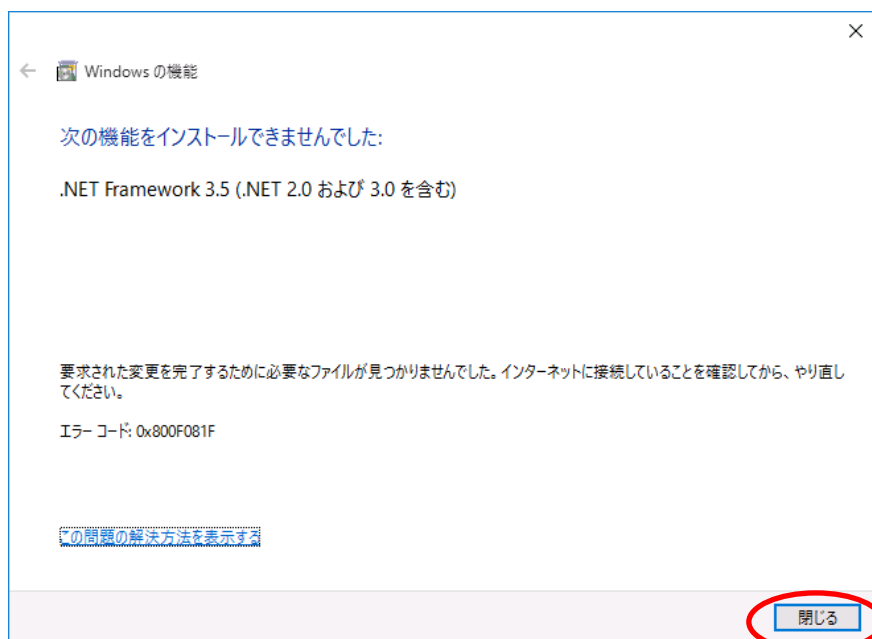
インストールが完了するまで、そのままお待ちください。(所要時間は10分程度です) 完了すると以下の画面が表示されますので、「閉じる」をクリックします。



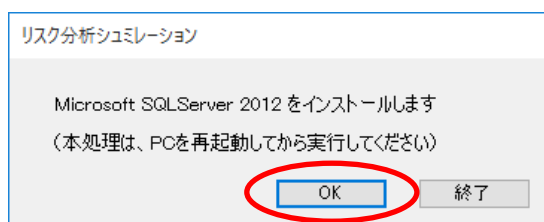
パソコンの再起動を行い、再度 STEP2の最初から実施してください。



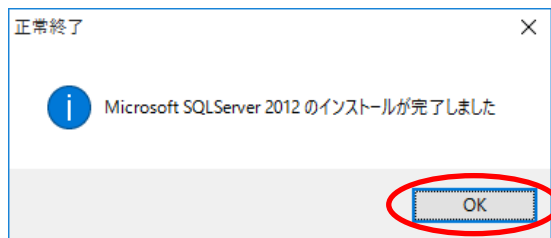
「.NET Framework 3.5」のインストールを実施する際に、インターネットに接続していない場合、または、以下のようなメッセージが表示された場合の対処方法につきましては、別紙「オフライン環境での.NET Framework 3.5 有効化手順.pdf」を参照してください。



STEP2 のインストーラが実行されると次のメッセージが表示されますので、「OK」をクリックします。

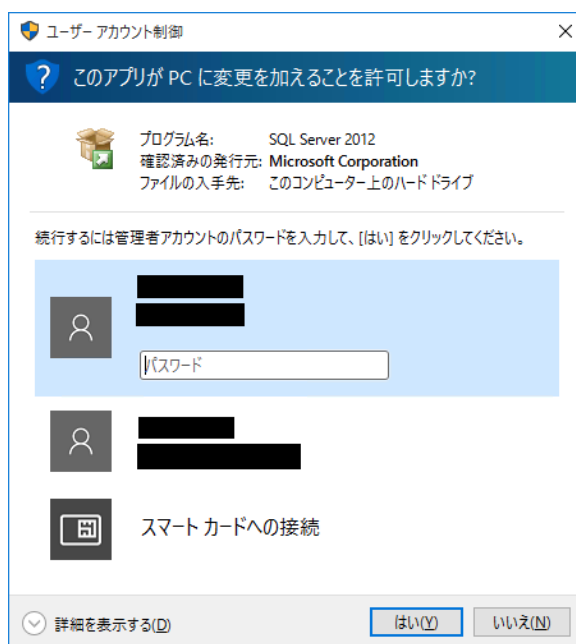


インストールが始まると、画面には様々な実行画面が表示されますが、特に入力操作を行う必要はありません。次のメッセージが表示されるまで、そのままお待ちください。  
(所要時間はパソコンのスペックによって変わりますが、2～10分程度です)  
完了すると以下の画面が表示されますので、OK をクリックします。

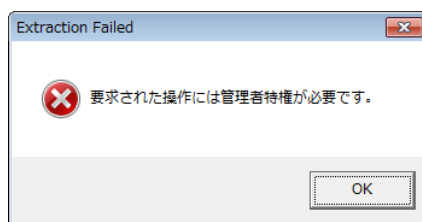


但し、インストール環境に不具合があったり、手順を間違ったりすると、下記のようなメッセージが表示される場合があります。

【現象① Windows10】



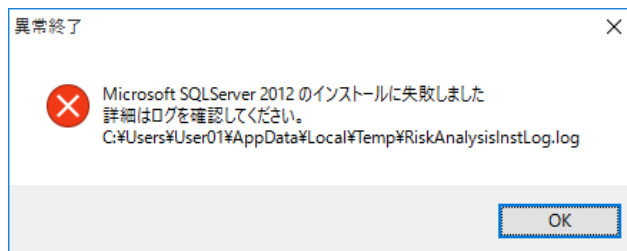
【現象① Windows10 以外】



これらは管理者権限を持たない状態でインストール作業を行うと発生することがあります。Windows10 以外の場合は「OK」をクリックすると、そのままインストールが継続され、正常終了したようなメッセージが表示されてしまいますが、実際はインストールが不十分な状態になっています。

この場合は、本処理を「管理者として実行」から実行してください。

## 【現象②】



※表示されたログファイル名は一例です。

このエラーはセキュリティポリシーによる制限など、パソコン上の様々な要因で発生します。エラーが表示された場合は、メッセージ内容を記録し、メッセージ中にあるログファイルを探して、それを確認してください。(メモ帳などで内容を確認することができます)

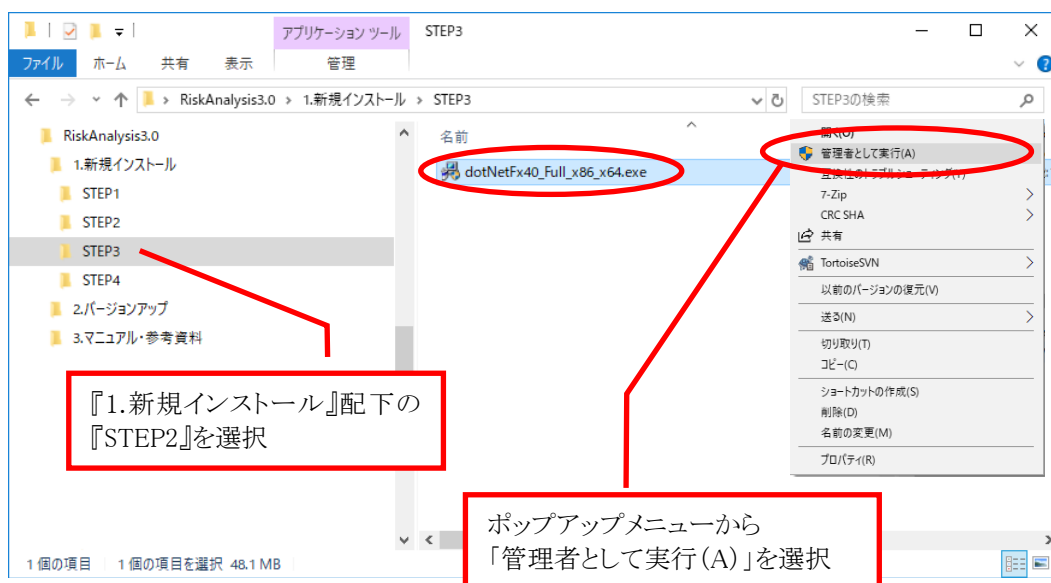
また、エラーの対処方法については別紙「トラブルシューティング.pdf」も参照してください。

本エラーが発生した場合、理由によっては当該のパソコンには本ソフトがインストールできない可能性もありますので、予めご承知おきください。

## ■ STEP3 .NET Framework 4.0 のセットアップ

※本処理は Windows10 をご利用の場合は不要です。

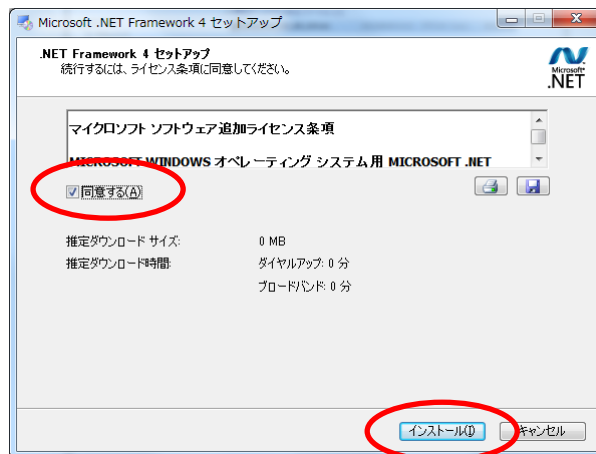
リスク分析シミュレーションでは、マイクロソフト社が提供する「.NET Framework 4.0」というソフトウェアを利用して動作します。Windows10 では標準で実装されていますが、それ以外の OS をご利用の場合は手動で「.NET Framework 4.0」をセットアップする必要があります。実行方法は、エクスプローラーにて CD-ROM 内の「1.新規インストール」フォルダの配下の「STEP3」のフォルダを開き、その中にある「dotNetFx40\_Full\_x86\_x64.exe」を選択します。



なお、選択後、パソコンによっては「ユーザアカウント制御」の確認画面が表示される場合があります。「ユーザアカウント制御」の画面ではそのまま「OK」を選択します。



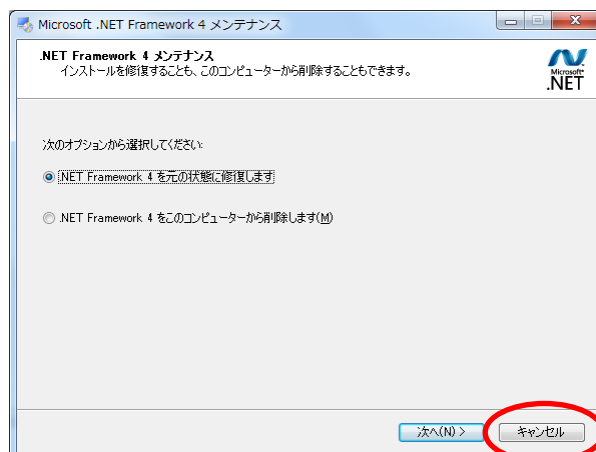
セットアップを行う場合は下記の画面が表示されます。



ライセンス条項の内容について「同意する」をチェックし、そのまま「インストール(I)」をクリックします。その後、インストール処理が実行され、処理が完了したら「完了」をクリックして処理を終了します。

また、お使いのパソコンのご利用状況によっては既に「.NET Framework 4.0」がセットアップ済みの場合もあります。

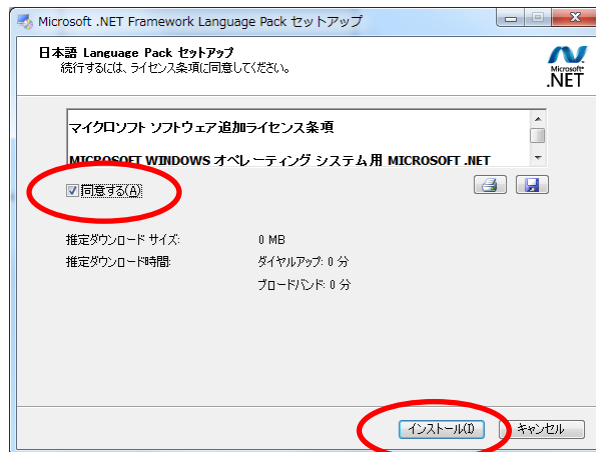
その場合は、ファイルを実行した際に、下記の画面が表示されますので、そのまま「キャンセル」をクリックして、次の STEP に進んでください。



#### ■ STEP4 .NET Framework 4.0（日本語版）のセットアップ

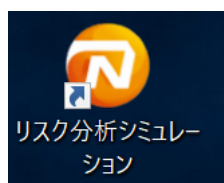
※本処理は Windows10 をご利用の場合は不要です。

STEP4では STEP3でセットアップした「.NET Framework 4.0」の日本語版をセットアップします。実行方法は、CD-ROM 内の「1.新規インストール」フォルダの配下の「STEP4」のフォルダを開き、その中にある「dotNetFx40LP\_Full\_x86\_x64ja.exe」を選択します。セットアップを行う場合は、下記の画面が表示されます。操作手順は STEP 3 と同様です。



既にセットアップ済みの場合は、処理をキャンセルして終了してください。

インストールが完了したら、全てのインストール作業は終了です。  
デスクトップ上にある次のアイコンをクリックしてリスク分析シミュレーションをご活用ください。



本ソフトウェアのご利用方法については、システム機能説明書 Ver3.1 をご確認ください。

## 第3章 バージョンアップ手順

### 3.1 バージョンアップを行う前の注意点

本章で述べるバージョンアップ手順は、お使いのパソコンに、既に「リスク分析シミュレーション」がインストールされている場合にのみ行うことができます。

バージョンアップを行う前には、必ず次の注意点を確認した上で実行してください。

#### ①リスク分析シミュレーションがインストール済みであること

バージョンアップはリスク分析シミュレーションが既にインストールされている状態でなければ実行できません。もし、リスク分析シミュレーションがインストールされていない場合は、「第2章 インストール手順」を参照して、新たにインストールを行ってください。

なお、バージョンアップを行う際、インストール済みのバージョンは過去のいずれのバージョンでも構いません。

#### ②管理者権限を持つユーザでログイン

バージョンアップはインストールと同様にプログラムの入替を行いますので、パソコンの管理者権限を持つユーザでログインして行う必要があります。

管理者権限を持たない場合は、実行時にエラーが表示されます。

#### ③古いバージョンのデータのバックアップは復元不可

バージョンアップ完了後は、古いバージョンでバックアップを行ったデータの復元処理ができなくなりますのでご注意ください。

※ データのバックアップについては、システム機能説明書 Ver3.1 を参照

本ソフトに保存されている保存されているシミュレーションファイル(過去分のデータ含む)はバージョンアップ後もそのまま利用することができますが、バックアップにのみ存在するシミュレーションファイルは復元処理ができないため、参照ができなくなりますので注意が必要です。

もし、古いバージョンのバックアップを利用する予定がある場合は、別の PC に古いバージョンのソフトウェアをインストールして、バックアップファイルをコピーしてご利用ください。

### 3.2 バージョンアッププログラムの入手方法

バージョンアッププログラムは、リスク分析シミュレーションの CD-ROM の「2.バージョンアップ」フォルダ内に梱包されています。(ファイル名は下記参照)

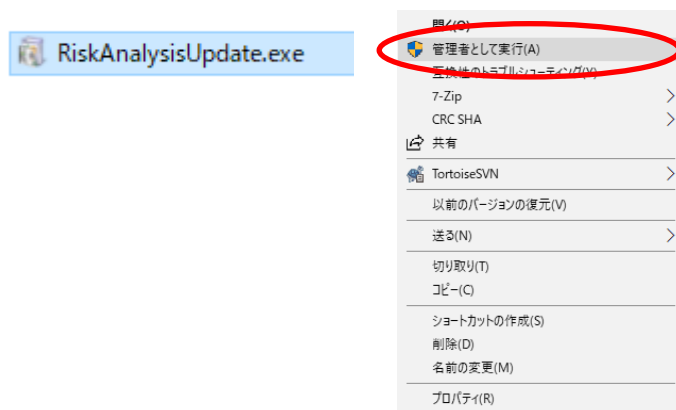
[バージョンアッププログラム名]

RiskAnalysisUpdate.exe

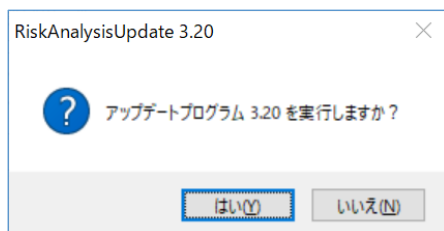
### 3.3 バージョンアップ手順

入手したバージョンアッププログラムは、まず、パソコン上の任意のフォルダに保存します。その後、保存したファイルを選択し、ポップアップメニューから「管理者として実行」を選択します。

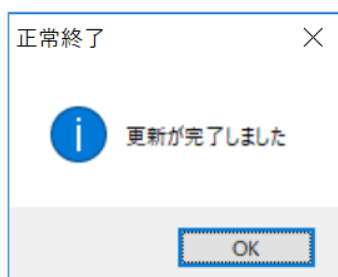
※ バージョンアップは、リスク分析シミュレーションを終了した上で実行して下さい。



実行後、次のメッセージが表示されますので「はい」を選択します。



バージョンアップ処理中は次のメッセージが表示されます。  
処理時間はパソコンにもよりますが、数秒から 10 分程度かかることもあります。  
バージョンアップが正常に完了すると完了メッセージが表示されますので、「OK」をクリックして処理を終了します。



これでバージョンアップ作業は完了です。  
万一、上記メッセージとは異なるメッセージが表示された場合は、以降の対応方法をご参考ください。

**【リスク分析シミュレーションが実行されている場合】**

バージョンアップを行うと同時に、リスク分析シミュレーションが実行中の場合は、次のメッセージが表示されます。



リスク分析シミュレーションが実行中です。  
アップデートを行う場合は、リスク分析シミュレーションを終了して  
から実行してください。

この場合はご利用中のリスク分析シミュレーションを終了してから、改めてバージョンアップ処理を実行してください。

**【デスクトップアイコンが古いままに表示される】**

アップデートを行っても、稀にアイコンの表示が古いままになることがあります。  
この場合は PC を再起動することで解消されますが、バージョンアップは正常に終了していますので、そのままご利用いただいても問題ありません。

**【その他の異常終了】**

下記のメッセージが表示された場合は、パソコン上の権限の問題など、様々な要因が考えられます。



更新に失敗しました  
ログファイルを確認してください。  
RiskAnalysisUpdate.log

メッセージと同時に、メッセージに記載されたログファイル(例:〇〇〇.log)が保存されたフォルダが表示されますので、ログファイルの中を確認する必要があります。  
対処方法については、別紙「トラブルシューティング.pdf」を参照してください。

**● エラーケース①**

万一、ログファイル中に「アクセスは拒否されました。」という内容があれば、パソコンに対する管理者権限を持たないユーザで実行されている可能性があります。

**● エラーケース②**

リスク分析シミュレーションがインストールされていないパソコンでバージョンアップ処理を行った場合も、上記のエラーが表示されます。

**● その他のケース**

パソコンの問題の可能性がありますので、エヌエヌ生命(03-5210-0369)にお問い合わせください。

## 第4章 トラブルシューティング

### 4. 1 トラブルシューティングについて

インストール時やリスク分析シミュレーションをご利用の際に発生したトラブル等につきましては、CD-ROM 内の資料フォルダに存在する「**トラブルシューティング.pdf**」を参照してください。

---

# リスク分析シミュレーション

インストールガイド Ver3.2

---

第1版    2022 年 6 月 1 日

---

(不許複製)